

スーパーコンピュータにあるファイルをアプリケーションサーバに複写する方法

以下の2通りの方法を紹介します。

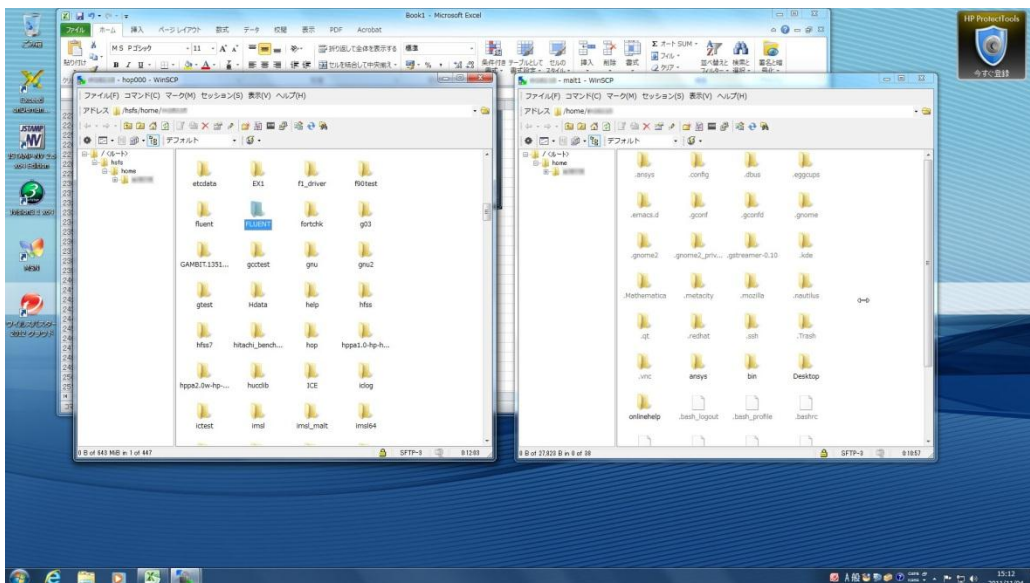
1) WinSCPを活用してファイルを複写

WinSCPで各サーバに接続する方法は「[ホスト名と接続方法](#)」を参照ください。

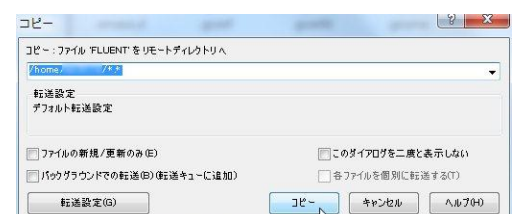
なお、本ページの説明で使用するWinSCPはバージョン4.3.5です。お使いのバージョンにより設定箇所の文言等が若干異なる場合がございますが、ご了承ください。

手順

- ① WinSCPを起動し、スーパーコンピュータに接続する。
- ② 認証後、“ユーザ名-hop000-WinSCP” ウィンドウ「以下、hop000ウィンドウという。」が表示される。なお、ユーザ名はサーバにログインするユーザ名、hop000はWinSCPのサーバ接続設定時に利用者側で設定したセッション名が使用される。本説明ではスーパーコンピュータ⇒hop000、アプリケーションサーバ⇒malt1としている。
- ③ hop000ウィンドウのメニューバーから「表示」→「環境設定」と選択し、hop000セッションの“環境設定”ウィンドウを表示する。
- ④ 左メニュー領域の転送ツリーから「ドラッグ&ドロップ」を選択し、右設定領域で「一時フォルダを使用」を選択する。
注意1：複写元セッション（本ケースではhop000セッション）のWinSCPで設定する必要があります。
注意2：同じ設定領域にある「リモートから他のアプリケーションへのファイル移動を許可」にはチェックを付けないようお願いします。場合によりファイルが消失してしまうリスクがあります。本センターでは本作業におけるファイルの補償は致しかねますのでご注意ください。
- ⑤ 「OK」ボタンをクリックし、“環境設定”ウィンドウを閉じる。
- ⑥ ショートカット等から別プロセスでWinSCPを起動し、アプリケーションサーバに接続する。
- ⑦ 認証後、“ユーザ名 -malt1-WinSCP” ウィンドウ「以下、malt1ウィンドウという。」が表示される。
- ⑧ 複写したいファイルをhop000ウィンドウから malt1 ウィンドウにドラッグ&ドロップする。



- ⑨ hop000セッションの環境設定で確認ダイアログ「ドラッグ&ドロップの操作」にチェックが入っている場合、“コピー”ダイアログが表示されるので「コピー」ボタンをクリックする。なお、ここではスーパーコンピュータから一時フォルダへの複写を行う。
- ⑩ 一時フォルダへの複写終了後、malt1セッションの環境設定で⑨同様の設定がされている場合、再び“コピー”ダイアログが表示されるので、必要に応じて転送設定を行い「コピー」ボタンをクリックする。ここでは一時フォルダからアプリケーションサーバにファイルがムーブされる。
- ⑪ スーパーコンピュータからアプリケーションサーバへファイルが複写される。



2) オンラインストレージサーバ (Proself) とWinSCPを活用してファイルを複写

WindowsOS から利用される場合、クライアントソフト (Proself Client) が [ベンダーのページ](#) で公開されております。ご利用のクライアントPCに該当するバージョンのProself Clientを入手し、クライアントに導入してお使いいただくことができます。こちらのソフトを導入すると、Windows フォルダと同じような感覚でファイル进行操作することができます。

同ソフトからサーバ接続への設定方法はマニュアルが付属されておりますので、そちらを参照ください。

なお、ブラウザから本サーバに直接接続する場合及び上記Proself Clientから本サーバに接続する場合、どちらの場合も接続サーバアドレスは以下のアドレスとなります。

オンラインストレージサーバ (Proself) 接続用サーバアドレス

<https://silo1.hucc.hokudai.ac.jp/> or <https://silo2.hucc.hokudai.ac.jp/>

silo1、silo2で参照する/home下のディレクトリはアプリケーションサーバmalt1～3で参照するディレクトリと同じストレージを参照します。つまりsilo1、silo2で管理するオンラインストレージにファイルを複写することは、malt1～3に複写することと実質上変わりません。

注意3：オンラインストレージサーバを利用した場合、ブラウザ・Proself Clientのどちら経由で接続してもアプリケーションサーバ側の環境設定ファイル（ファイル名の先頭に“.”が付くファイル・フォルダ）を表示できませんのでご注意ください。（スーパーコンピュータからの環境設定ファイルの複写は可能です。）

- ① 1) ①～⑤までの手順に従い、WinSCPでスーパーコンピュータに接続し環境設定を行う。
- ② ブラウザまたはProself Clientからオンラインストレージサーバ (Proself) に接続する。
（接続時の認証は本センター大型計算機システムの利用者名 / パスワードとなります。）
- ③ ドラッグ&ドロップでファイルを複写する。

(a) ブラウザで接続した場合

- ・ 認証後、左側にメニュー、右側にファイル一覧が表示される。
- ・ ファイル一覧でファイルを複写したい場所までフォルダを移動する。
- ・ メニューの「アップロード」をクリックし、アップロードページを表示する。

注意4：Javaが導入され、利用するブラウザに関連付けられている必要があります。

正常に表示されない場合、こちらのページで利用環境の推奨バージョンが導入されていること確認し、必要に応じて改めてJavaを導入してください。

- 2) ①で表示させたhop000ウィンドウにあるファイル（アプリケーションサーバに複写したいファイル）をアップロードページのドラッグ&ドロップ領域にドラッグ&ドロップする。
- ・ アップロードページ下部の「アップロード」ボタンをクリックするとファイルがオンラインストレージに複写される。

なお、ブラウザで接続したページ (Proself) の使用方法については、同ページ内の「ヘルプ」を参照ください。

(b) Proself Clientで接続した場合 (WindowsOSのみ)

- ・ コンピュータ (XPではマイコンピュータ) からProself Clientアイコンをクリック (orダブルクリック) し、接続設定でオンラインストレージサーバ用に作成した接続アイコンをクリック (orダブルクリック) する。
- ・ 認証後、ユーザ名のフォルダが表示されるのでクリック (orダブルクリック) する。
- ・ /home/ユーザ名以下のファイルが表示されるのでファイルを複写したいフォルダにファイル表示を移動させる。
- 2) ①で表示させたhop000ウィンドウにあるアプリケーションサーバに複写したいファイル (スーパーコンピュータのディスクにあるファイル) を直上で開いたフォルダにドラッグ&ドロップする。
- ・ WinSCPのhop000セッションの環境設定で確認ダイアログ「ドラッグ&ドロップの操作」にチェックが入っている場合、1) ⑨同様「コピー」ダイアログが表示されるので、「コピー」ボタンをクリックする。
- ・ ファイルがオンラインストレージに複写される。

なお、Proself Clientの使用法は付属のマニュアルを参照ください。